

質問順位	16	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 財政政策	1. 過疎債について	1. 空知総合振興局管内で、過疎債対象外は滝川市だけ（岩見沢市は合併で対象になった）と聞く。①適用要件について②人口減と高齢化が急速に進む滝川市だが、対象自治体になる可能性について、各要件の見通しについて伺う。			
		2. 前田市長は、子ども医療費助成のあり方について、人口が多い自治体には財政負担が大きいこと、医療費助成は市町村で差が無いことが求められるので、国の責任での実施が必要と述べてきた。また過疎債を活用している自治体が多いと聞く。①その活用実態（助成額に対する割合、償還時の交付税措置等についての周辺市町の事例など）について②国に過疎債適用要件の改善を求める考えについて伺う。			
	2. 中期財政フレームについて	1. 「平成27年度以降の中期財政フレーム（一般会計ベース）」が、11月28日の総務文教常任委員会に報告された。衝撃的な内容で、「今後5か年平均5億4,600万円の赤字」「平成29年度予算編成の段階で一般会計基金はゼロに」（25年度末残高23億3,200万円）「多くの公共施設への投資をフレームでは抑制したにも関わらず、単年度収支は赤字」などと説明が掲載された。財政を安定させながら市政執行していくための庁内議論の経過と深さについて伺う。			
		2. フレームでは、「一般会計の基金残高は、26年度末で16億円となり、27年度末には10億円を割ることが推測される。基金がなくなる前に、事業の見直しを進め、財政健全化を図ることが急務となっている」と記載。①議会への深い説明②市民への説明・広報③市民的議論を、いつから、どのように進めていくのか④新年度予算との関係について伺う。			

質問順位	16	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メモ	
		<p>3. 「27年度に義務教育施設の耐震化事業を完了する予定だが、組合消防庁舎の建設や体育施設の耐震化事業なども予定しており、当面大型建設事業が続く見込みにある。道路、公園等のインフラ整備や継続事業を考慮すると他に事業を実施する余力はない状況である」と記載。①「当面大型事業が続く見込み」の事業について②「他に」含められる事業として、どのような建設事業を想定しているか。</p>			
		<p>4. 『建設事業費等大型財政需要については、要望額が膨大なことから、「新規起債は元金償還金の1/2に抑える」という上限枠を設定した中で推計をしている』と記載。①今後10年間の元金償還の年平均見込み額は②1/2の額に、前要旨の組合消防庁舎や体育施設など、「見込み」をしている建設事業額はどの程度を占めると想定しているのか。</p>			
2. 市税	1. 連帯納税義務について	<p>1. 連帯納税義務については、ホームページで説明されるなど、市民理解が進んでいると思う。収納率はどの程度高まったか。</p>			
	2. 延滞金について	<p>1. 延滞金の総額が、予算書・決算書を含め、市議会に金額が示されたことは無いと聞くが①そのように確認してよいか②その理由は③庁内で、金額や徴収目標管理について、どのような資料を作成しているか。</p>			

質問順位	16	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
		2. 延滞金の①25年度末の総額②項目別内訳③調定していない、できないなどならその理由は④その場合の概算額について伺う。			
		3. 延滞金徴収で、かつて減免制度のようなものがあつたと聞くが、内容と経過について伺う。			
	3. 差押えの解除について	1. 国税徴収法等で、差押えの解除等について、どのように定められているか。また、滝川市はどのような判断基準を用いているのか。			
		2. 延滞金未納残額がある場合の、近年の不動産差押え解除実績について伺う。			

質問順位	16	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メモ	
	4. マニュアルの作成について	1. 徴収についてのマニュアルはあるか。また、どのように統一した対応ができるようにしているか。			
3. 防衛大綱と機動連隊誘致	1. 自衛隊に関する要望について	1. 隊区の市町長が、防衛省要望を行った。駐屯地・連隊のどのような増強等を想定して要望したのか。可能な限り具体的に伺う。			
		2. 機動連隊の装備については、①機動戦闘車が有力視されているのではないか②どのような性能を持つものか。			
		3. 機動連隊化による駐屯地増強は、地域経済の向上になると考えているようだが、①どのような補助金・交付税のメニューがあるのか②人員増による消費増の経済効果はどの程度になるか。			

質問順位	16	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
4. 農業行政	1. 米麦ばら調製施設について	1. 本年産米は、青米が多く、色彩選別で出荷が遅れている。例年と比較してどのように把握しているか。			
		2. 経営支援対策として、組合員勘定を閉じるための融資、精算払いが行われるまでの利子補給を、青米が多い年に限り、市として実施する考えについて伺う。			
5. 教育行政	1. 小中学校の大規模改修・改築計画について	1. 9月定例会で、市教委の考え方が答弁された。要約すると「今後は滝川第二小学校が築39年、東小学校と江陵中学校が築36年、明苑中学校が築35年、築54年の滝川第一小学校は大規模改修後26年で、5校の大規模改修や改築が必要になるかもしれない。改築費の概算は、1校当たり22億円程度、大規模改修12億円程度。文部科学省の新たな長寿命化改良事業も視野に入れながら、新年度に平成28年度以降の小中学校の施設整備方針を具体的に計画していきたい」というもの。中期財政フレームが出されたが、市教委の基本的な考え方に変わりはないか伺う。			

質問順位	16	質問者	清水雅人 議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
6. 市議会議員の政務活動費	1. 今後の対応について	1. 2日に第61回議会運営委員会が開かれ、「政務活動費を1万500円/月から2万500円/月へと、1万円引き上げること」を確認した。日本共産党は委員外議員だが、反対を表明した。11月27日の会派代表者会議の結果を受けての議長からの口頭説明、議会運営委員会の確認を受けての議長からの説明と文書を受け、市長は、どのような検討を進めてきたのか。			